

(別添資料1)

事業所名

すてっぷ小緑

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2026年

2月

28日

法人（事業所）理念	<p>・子供たち一人ひとりが安心、安全の下「気付く」「考える」「伝える」の力が伸びるよう支援を行います。成功体験から自己肯定感が伸び「自分の想いを伝えよう」「〇〇って言ったら相手はどうするかな？」とコミュニケーション能力や社会性の向上を目指しています。</p>							
支援方針	<p>・「褒める」「認める」の考え方や声掛けを行い、「〇〇出来た」「またやってみよう」「困ったら先生やお母さんに聞いてみよう」といった成功体験や自信をつける事で子供たちの自己肯定感の向上にも繋がっています。</p> <p>・大人が仲立ちになり、子供たち同士話し合ったり、助け合いが出来るよう集団活動を多く取り入れています。「〇〇さんはどんな気持ちだろう？」「今は何をやる時間かな？」といった「相手の想いに気付く」「周りの状況を見てどうするか考える」の「気付く」「考える」「伝える」の経験の場面も多く設定しています。</p>							
営業時間	午前9時	30分	から	午後6時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>健康状態の把握</b>→自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援していきます。意思表示が苦手な児童のサインに気付けるように日々の行動観察を徹底して行います</li> <li>・<b>基本的な生活スキルの獲得</b>→声掛けだけでなく、写真や絵カードを使った視覚支援を行い、持ち物の管理や歯磨き、学校の準備といった日常生活に必要な能力の向上に繋がっていきます。</li> <li>・<b>構造化等により生活環境を整える</b>→生活の中で自由時間での遊びや日々の活動を通して児童が学び、気付けるよう環境を整えます。また、障がいの特性に配</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>身体機能の向上</b>→運動面での遊びや日々の活動を通して、身体の使い方の学びに繋がります。</li> <li>・<b>感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応</b>→感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行っていきます。</li> <li>・<b>児童一人一人のレベルに応じた活動の対応、目標設定</b>→スモールステップの考えを中心に「頑張ったら出来るレベル」で児童との関わりを持ちます。児童一人一人の「出来た」「またやってみよう」といった成功体験からの自己肯定感の向上に繋がっていきます。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>日常生活や活動からの経験、気付き、習慣化</b>→来所したら挨拶する、ホワイトボードに書いてある本日のスケジュールを確認するといった行動の習慣化への促しを密に行います。また、その確認から見通しを持つ経験、習慣化に繋がっていきます。</li> <li>・<b>認知の偏りへの対応</b>→児童一人一人の特性に配慮し、視覚支援や適度な声掛け等を行い、入ってくる情報を適切に処理できるように対応していきます。</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>需要言語や表出言語の支援</b>→言葉や文字等を使って相手の意図を理解したり（受容）、自分の考えを伝える（表出）支援を行います。また、スタッフが見本になり子供たちの気付きを促す対応も積極的に行います。</li> <li>・<b>伝え方や受け取り方の向上について</b>→スタッフを中心に相手の性格や特性について児童と確認し「〇〇って言ってみると上手く伝えられるかも」「相手は〇〇のつもりで言ったかもしれないね」とフォローやアドバイスを行い、伝え方や受け取り方の向上に繋がっていきます。</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>アタッチメント（愛着行動）や信頼関係の形成</b>→人間関係の意識と身近な人との親密な関係を基盤とした、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。</li> <li>・<b>模倣行動からの学びについて</b>→遊びや活動の中、スタッフを中心に人の動きを真似する事で、社会性や対人関係の芽生えの発展に繋がっていきます。</li> <li>・<b>自己の理解と気持ちのコントロールの向上について</b>→出来る事、出来ない事等、自分の行動や今の状況を理解し、きもちや情動のコントロールが出来るよう支援を行います。</li> </ul>						

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所での様子を帰りの送迎時の申し送りで丁寧に伝え、情報の共有を行います。</li> <li>・本児だけでなく保護者や兄弟の様子も確認し、その時その時に合ったニーズへの対応を行います。</li> </ul>	<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者だけでなく保育園やこども園、他事業所との連携を取り、会議を定期的に行って進級、進学についての情報交換、計画作成、支援を行います。</li> <li>・「えいぶるノート」の作成を行い、新しい環境へのマニュアルとして良い支援や環境の設定に努めています。</li> </ul>
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所との定期的な会議、情報交換を行っています。</li> <li>・同じビル内の施設や会社の方々と防災の確認を行っています。</li> </ul>	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼時の申し送り、終礼時の一日の振り返りに多くの時間を取り、職員一人一人の課題解決やスモールステップの目標設定を行い支援に取り組んでいます。</li> </ul>
<p>主な行事等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のお誕生日会</li> <li>・当月に合わせた行事活動（1月正月遊び、2月節分、3月事業所内卒業式、4月事業所内入学・進級式等）</li> <li>・親子レク(ミニ運動会等)</li> </ul>		